



オリジナルのストーリー作り(地学基礎講座を通して)

今回は1月・2月に開講した「地学基礎講座」について、ご紹介いたします。この講座は、中学校の理科で学習する内容を佐渡の岩石や化石を観察しながら使える知識として身につけることを目的に実施しました。

普段の生活では、身の回りにある岩石は「石」であり、正式な岩石名で呼ぶことはほとんどありません。しかし、石や化石、植物も必ず名前があり、人間と同じように個性を持っていきます。そのことをこの講座を通して理解していただくと、野外



北鶴島の結晶質石灰岩

に出たときに楽しさがより一層広がるのではないかと思います。

たとえば、石灰岩は佐渡では赤泊地域と外海府の北鶴島にしか見られない珍しい岩石ですが、その特徴を知っていると「この石、もしかしたら石灰岩?どうやってこれを区別しようか?そうだ酢につけてみよう。泡が出た。やっぱり石灰岩だ。石灰岩だったら化石が入っているかもしれない。ルーペで観察してみよう。

石灰岩はセメントの材料になることを聞いたことがある。この辺りの石灰岩も採石されていたかもしれない。調べてみよう。なるほど北鶴島の石灰岩は相川金銀山の浮遊選鉱場に使われていたんだ」と、一例ですがこんな風に考えが発展し、ストーリーが膨らんでいきます。

基礎を学ぶことは、オリジナルのストーリー作りには欠かせないことであり、ストーリー作りこそがジオパークの楽しみ方だと考えます。

◎教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室

(畑野行政サービスセンター内)

☎66-4160

トキ野生復帰にむけて 160



トキガイド養成講座開講!

1月28日(日)、トキガイド養成講座の第1回目の講座を行いました。

この講座はトキの野生復帰や生態などを解説する「トキガイド」を育成するため、毎年行っており、今年度は実習に重点を置いています。

約50人の受講生が参加し、トキの野生復帰の取り組みについての講義やトキのモニタリングと機材の使い方の説明、トキの模型を使った観察の実習を行いました。

講座では、トキの内容以外にもジオパークや世界農業遺産、世界遺産に関することなどさまざまな内容を受講していただき、3月24日(土)に行われる、トキガイド検定試験に挑戦することとなっています。

佐渡やトキを愛する皆さん、ご活躍を期待しています。

トキはこれから繁殖期に入ります

羽がすっかり黒い繁殖羽に変わり、トキはこれから本格的な繁殖期に入ります。ペアを作ったトキたちは、このあと巣作り、産卵、子育てと忙しくなっていきます。

3月から6月ごろにかけてのトキは神経質になっていて、ストレスを感じると卵を捨てたり、子育てをやめてしまう恐れがありますので、トキの巣に近づいたり追い掛け回したりせず、安心して子育てができるよう遠くから温かく見守ってください。



繁殖期には首から背中にかけての羽が黒くなります

◎産業観光部農業政策課 トキ保護係

(トキ交流会館内) ☎24-6040